

# UTA会 だより



第10回UTA会風景

## ■幹事長の挨拶

UTA会も四年目を迎え、桜が咲く季節になりました。

三月のセミナーでは反転の実践を大勢の方が体験され、お帰りになりました。見ている私達も実践の大切さを学びました。家に戻られてからも実験されて

いることと思います。

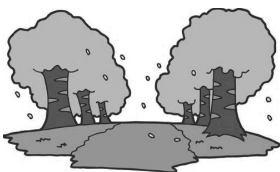
本当にびっくりするやら、うれしいやら、誰でも直ぐ楽しんでできることも、ありがたいですね。我が家の母も年老いてはいますが、お食事の前には、お水の反転を毎回しています。子供でも、老人でも、誰でもできるものなんて、そうそうありませんが、こんなことが本当にあるのですね。効果も直ぐ出て感動です。五月のセミナーまで、実践して参加したいですね。

ところで、私は大阪に来て十カ月になります。周りは田園風景、山が見えます。自然公園も近くにあり、今、桜が満開です。何度も公園に行つては、小さい頃の事を思い出します。雑草も、草木も、懐かしく、朝の空気の

気持ちよさ、風の爽やかさと心地よさ、夕陽の美しさは、毎日感じる幸せです。子供の頃感じて暮らしていた時と同じです。まだ、こんなに穏やかで、温かい場所があつたんです。うれしいです。

是非一度は訪れてほしい所です。特別に何も無い所ですが、何かうれしい、温かい所です。

久保明子



# UT A会風景

## ■第九回UT A会の開催状況

二〇一一年十二月十八日から二十日まで、一段と寒さも増す中、琵琶湖グランドホテルで第九回UT A会が開催され、約七百五十名の会員が参加されました。

今回は、事前にホームページに「田池留吉の磁場と反転」をテーマに学びを進めることと、セミナーで行う三つの実習項目が具体的に予告されていました。また、あらかじめ実践の希望者に対する幾つかの条件も示されました。

当日は資料として、ホームページに載せられた先生のメッセージと、前回までの復習の資料が添付され

ました。

なお、ホームページ上で「私が参加するUT A会セミナーは、平成二十六年十二月までとさせていたいただきます」と明記されました。

初日は、久保幹事長の報告に続き、田池先生が「今回からちよつと趣向を変えます。この学びは△自分の心を見る▽ことにつきます。今まで一、二、三などで勉強してきましたが、今回から△磁場▽という言葉を使います。

なぜ、この言葉を使うか。実は皆さん身体の不調を感じる人が多いんですね。なぜ、病気になるのか。今回は△磁場▽でいろいろと実習しますので、共に学んで△心を見て▽死ぬまで元気で過ごしてください」とテーマの磁場を強調された

後、資料を読まれながら「人間は情報を発信して、受信している」「人はもともと喜びなのに、ほとんどがマイナスの情報を出している」「マイナスの情報をプラスに反転させる」「思いはパワーですよ。パワーは仕事をします」などと話されました。

次いで実習に移り、卓上に水道水を入れたコップを二つ置いて、「仲の悪いご夫婦いますか」で一組の夫婦が出られた。

まず、奥さんが最初のコップを左手に持ち、右手の人差し指と親指で輪を作る。それをご主人が開く。簡単に開く。

次に先生が思いを向けた別のコップを同じようにすると、今度は簡単に開かない。

思いのパワーの凄さを間近に見

て、会場の皆さんも驚かれています。

休憩の後、「田池留吉の磁場を思い続けてきた人」で、約五名程度で二組出られ、三組目は九回以下の人で約十名、最後は五名一組で、予告されていた一、二、三に基づき実習が進められ、途中で「人生で一番大切な物は」の問いに、着席の塩川さんが「本当の自分に出会うことです」と即答されたのが印象的でした。

二日目は、午前中は瞑想・親睦の時間で、各自がそれぞれの場所で過ごされました。

午後から、先生が「今日も磁場の勉強です。本当の自分に出会うために命がけでやってください。本当のことが分かってきたら、ころっと

変わりますよ。それが反転です」などと話されながら「ちよつとやりましょう」と、左回りで準備運動の形で指さしの闇出しが行われた。

続いて、「では、磁場の勉強に入ります」と、箱から約五名ずつ選んで、三組の実習が行われた。人によつては、各部位の症状に合わせて丁寧な実習が行われた。

次いで、「では、ここでみんな一齐にやりましょう。それぞれの気になる部位に向けて瞑想してください」と全員の実習が行われた。「良くなつたと思う人」に多くの人が手を挙げた。「常にやってください。どんどんプラスの情報を発信してください。自然治癒力が高まります」で休憩に入りました。

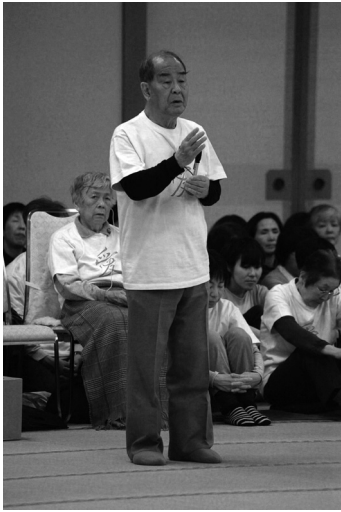
休憩の後、一組が終わってから、「気になった人なので」と突然正面

の一人の青年を指名、単独の実習が行われた。引き続き、四組の実習が行われました。

その後、「これを見て私も治してほしいと思う人、どうぞ」に、どつと約二十名弱の人が出ました。

そして、「ふるさと」で二日目を終了しました。

三日目は、幹事長の報告の後、先生が「復習ですが、自分の心をしっかり見るんですよ。自分がどういう情報を発信しているか。心が正しい方向に向いているか」「自分を大切にするためにどうするか。大事なことは母親の温もりを感ずることですね。これが分からない人は人間じゃない」「ゼロ歳の温もりは皆さん全部知っている。これこそ本当の平等ですよ」「今回から磁場を



第9回UTA会風景

使い始めましたが、それも突然じゃなく、私にとっては入流れVなんです」などと話されながら、実習一、二、三の復習に入り、「田池留吉の磁場を素直に思えばいいんです。形や姿を思おうとするから間違うんです。皆さん肉体細胞にありますがどう思ったことないでしょう。肉体細胞にありますがどう、ごめんなさい、ありがとう、そして反転と田池留吉の磁場に思いを向ける」ことを強調され、「昨日のように実習しますが、病気治しじゃないですよ。心を見る

ためにやるんです」と念を押され、約五名ずつの二組の後、追加の形で二名、一名、一名で今回の実習が終了。

そして、「ふるさと」に移り、正午に三日間のセミナーが無事に終了しました。

#### ■第十回UTA会の開催状況

二〇一二年三月十八日から二十日まで、まだまだ寒さの残る琵琶湖グラウンドホテルで第十回UTA会が開催され、約七百三十名の会員が参加されました。

今回は、ホームページに三月のセミナーの参加に際し、常に田池留吉の磁場に心に向けて反転を実践、実行することを呼びかけられています。

した。

当日は「田池留吉からのメッセージ」と、「ホームページより抜粋の文章」が記載された資料が配布されました。

また、今回は「水の実験」ということで、会場がコの字型に設定され、テーブルが十脚用意されました。

初日は、久保幹事長の報告に続き、田池先生が「今回から当分の間、水の実験を中心に反転の勉強をやりまします。昨夜も前日泊の人にやりましたが、必ず反転ができるという状態でお帰りいただきたいと思えます」と前置きされて、資料の説明をされました。

特に最後のページの有限の世界から無限の世界に自分を解放して

いく、そのために田池留吉の磁場に心の針を向けて反転を実行することを強調されました。反転は喜び、温もりのエネルギーで、マイナスの情報をプラスに変えていく。反転はこれから驚異的な発展を遂げていく。水を反転することにより、さらに意識の転回が進み、次元移行に向かっていくことが、今回のテーマですと力説されました。

次いで、「二番目は水でやります。これは水道水ですが、悪い水を使って反転すると良い水に変わる。それができたら転写ということができるとね。コピーですね。それでテストをする。次は体を治す、メガネなどを直すなど色々応用ができます。そして、次の段階が最も大事です。心を見るということですね。例えば母親に八くそばばあVと思つたら、そ

の思いを反転させるんです。これが自己供養なんです。そういった実践を繰り返すことで意識の転回が進みます」と語られながら、反転やオリンピックテストのやり方を実演を交えて説明されました。

「後で希望者を募りますが、とりあえず遠方から来られた方でご希望の方を最初にやりましょう」と、約二十名の方がテーブルにつかれて実験が行われました。

休憩の後、実験の経験のない方を中心に希望が募られ、約二十名ずつで五回行われました。

その後、「複雑な病気以外で、どこか痛いとかの人もいますか。すぐに治りますよ」に約十名の方が名乗り出られ、ほとんどの人が「良くなりました」と驚きの表情でした。「私が治しているんじゃない。自分が治

しているんです」と話されて、初日の勉強が終わりました。

二日目は、午前中は瞑想・親睦の時間で、各自がそれぞれの場所で過ごされました。今回は水の実験をされた人も多かったです。

午後からは、先生が資料を見ながら「昨日の復習ですが、人間は本来大きな無限の世界なのに、小さな有限の世界に閉じこもっている。だから苦しみ絶えない。いつも争っている。有限の世界を信じて生きていく人は人生失敗ですよ。その有限を無限に変えるのが反転ですね。しかし、これは今まで私がずっと言い続けてきたことと基本は同じです。だから母親の温もりの分らない人は、田池留吉の磁場に心を向けることは難しい。従って、反転もなかなか

かできない。けれど、針がぴたりと合えば瞬時にできます。誰でも、どこでも、何時でもできるんです」などと話され、純水や生体水を使って、さらに美味しい水の作り方を実践されました。

「お水もそうですが、自然に帰るということが基本です。そういう意味で故郷は大事ですよ」と生まれ故郷の効用なども話されました。

引き続き、「昨日の要領でやりましょう」と水の実験に入りました。休憩を挟んで二組が終わったところで、「ちよつと趣向を変えましょう」と各コーナーで指さしが始まりました。「闇出しの途中で反転するんですよ」と四回ほど行われ、その後、またテーブルで二回ほど水の実験が行われました。

そして、「ふるさと」の合唱で二

日目が終了しました。

三日目は、「どうですか。反転進んでますか」と、テーブルで二組が終わった後、「今度の人は畳に座ってください」と対面に座ってもらい、「目をつむって内から闇が出てきたら瞬時に反転してください」と呼びかけました。「はい、反転して良かった人」と言うことで、感じた人から順に退席した。

この要領で、その後は各コーナーから二十名〜三十名が任意で飛び出して反転の実践をしました。

そして、改めてふるさとの話から、母親の反省、ゼロ歳の瞑想の重要性を説かれ、さらに自己供養の実践の必要性から、過去世と自分のマインスの思いを反転させる瞑想が全員により五分間行われ、場内が大

きく盛り上がりました。

最後に先生から「今年一年、田池留吉の磁場に少しでも近づけるよう、ことあるごとに反転を心掛けてください」と締めくくられ、全日程が終了しました。



第10回UTA会風景

## 会員からのお便り

このコーナーは、皆様とUTTA会を繋ぐページです。皆様の体験談や手記、ご意見などを、お気軽にお寄せください！

### ■体験談

▼「みんな、帰ろう」

沖縄県 上地弘一

第九回UTTA会（二〇一一年十二月）の田池留吉の磁場に向ける実習で、田池留吉の磁場に思いを向けて、首のこりと頭痛に思いを向けると、痛みが消えて頭が軽くなる体験をしました。

私の頭痛と首のこりは、我一番、己偉しの思いが強くなることに関連して起こることは、以前から気づいていました。時には、丸一日、頭痛

が続くこともありました。そして、その部位に思いを向けた時に、痛みがなんとはなしに消退することがあることも、以前から経験はしていました。今回、思いを向けることで痛みが消えることをはつきりと認識しました。

今回の体験は痛みが消えるということに留まることなく、自分に対しても、他人に対しても、周りに対しても、冷たくて、厳しい自分の中の我一番、己偉しのエネルギーを、今までよりも更に深く見ていくことに繋がりました。

私は、病気を治すこと、病気で苦しむ人々を助けることを仕事にしてみました。また、沖縄の人々の苦しみに思いを向けてきました。意識が外に外に向いてきました。

この学びに繋がって、自分の心を

見ていくなかで、自分の中が苦しかったこと、自分の中の寂しさ、不安・恐怖感が強いこと、をようやく実感しています。自分の中の苦しみを放置しておいて、人を救うことに思いを向けてきた自分を振り返ると、「間違ってきたな」という思いが湧き上がってきます。私の中の苦しんできた意識たちは、気づいてもらって、思いを向けてもらって、今、喜んでいきます。

私は涙があふれる体験はセミナー会場でも何度もしました。涙もろい自分にも気づいていました。しかし、何故そうなのかは理解できていませんでした。今回のUTTA会場で、あふれる涙と共に「苦しかった、戦いと冷たいエネルギーを流してきた、自分を受け入れてこなかった、ごめんなさい、ありがとう、帰ろう、

みんな帰ろう」という思いが、内から湧き上がるのを感じました。自身に触れている感じです。あふれる涙は私に代わって語ってくれていました。温もりに帰りたいと。心が少し開放された感じでした。まだ、自分を語れない自分があります。そんなにも長年閉じ込めてきた自分を感じます。

この学びに参加して満六年に当たる、第八回UTA会(二〇一一年九月)で、自分が母の温もりを感じていないことに落胆しました。その後から、原点に戻って、はじめからやり直す決意を新たにしました。そして、ゼロ歳の自分を思う瞑想をすることを毎日自分に課することにしています。共に帰る仲間たち、ありがとうございます。

▼「田池先生の朗読と異語」

神奈川県 四方田奈加子

「あと三年」という時間、余計なものも切つていこう、いかねば、と肉で無理してやっていたら、余計おかしなことになり、肉は余計にこだわり、頭にひとつのことが浮かんで離れなくなりました。

瞑想も集中できない状態が続き、いろんな意味でおかしいなと思っていた。

おととい、コタツに入り、アイポッドに入った先生の朗読と異語を聞いた。

何も考えずに聞いた。ただ目を閉じて、瞑想しようとか、何に向けよ

うとか、先生とか磁場とか、肉体細胞とかゼロ歳とか、何も思うことなく、ただ聞いた。

目を閉じて聞いていた。肉は耳から入れているだけ。目を閉じてるだけ。

だけど、心が変わっていくのが分かった。

すごいなと思った。

道徳で押さえ込み、それはいけないとどんなに自分を戒めても駄目だった自分の心。きっと過去には修行などしていたんだろう。

それとは違う。優しい。私は先生の異語つてすごいなと思った。ただ聞く。ただ目を閉じるつてすごいなと思った。肉の頭クルクルで何も生



み出すことはなかった。

反省しようにも、にっちもさつちもいかなかった。

本当のエネルギーは仕事をするってこういうこと。

理屈ではなく、すごいなって思った。

私の瞑想は「何かがある」あって、「何かを」があって、ただこんなふうに目を閉じてたことはなかった。

欲じゃないってこういうことなんだ。すごいなあって思った。心が変わっていく。嬉しかった。助かった。ーって思った。また歩いていけるって、そんな元気が出てきた。

「これなら出来そう」、そう思う自分があった。

何も難しいことはなかった。理屈でない。

ほんとに短い時間でした。

目を閉じてるだけで心が変わって、いくなんて信じられなかったけど、たしかにそうだったのです。先生の異語は本当の仕事をしているんだって思いました。私の頭では何もわかりませんでしたけど。

狂っていたから、心の方がよく分かりました。

心は本当は素直でした。私ももらった冊子とか、少し読み方が変わりました。

短い時間でしたが、嬉しかったです。

体験が少しでもあって、読むと、また違います。

引き続き、四方田さんの体験です。

▼「自分の中に」

この前、娘と携帯電話を買った。

自分が選んだ方が、後で気に入らなくなった。

娘が選んだ方が欲しくなった。

そして、いつまでも心の中がブチブチ言っていた。

どうして、もう少し落ち着いて選ばなかったのか、もう少し色々見ればよかった……等。

つまらないことだと思いつつも、ずっと欲しかった携帯だから納得のいく物を選びたかった。馬鹿だなあ。急いで。

とりあえず磁場と反転と思って水

を飲んだりはしていた。

ふとした瞬間に、ずっとずっと触っていても気に入らなかつた携帯……なのに、ふっと心が変わったのが分かった。それは何がどうという理屈ではないけれど、なんだか嬉しいというか。

あの時と同じ。先生の異語を聞いて、心がカセットテープのA B面が反転されたみたいに変わった時と。

そしたら嬉しくなった。あの時は音声を聞いて、先生の声とか、波動にパワーがあるなあと思ったけど。どちらかというところ、外から……という感じで。

だけど、ほんの少し、自分の中に

もあるかなあ……と思えた。

お水を飲んだり、味とかは、正直、大した違いは分からない。

でも、こだわりが強く、後悔とか、いつまでも後を引きやすい心が変わったのは、よく分かる。お水を飲むことと連動しているなあとと思う。何か「反転」の方に向かっていくような気がする。

そうすると、例えば人の前で失敗とかしたら、今までと同じような失敗する場面であっても、今までだったら落ち込む自分がただただ怖かったけれど、こんなふうに反転している自分もあるから、何があっても大丈夫だと、少々自分を大らかな目で見ていられるような、そんな気がします。

この携帯を買ってよかったのは、このちよつとしたことを感じられたこと。

先生でなくても、自分でも、自分の心を反転する能力があるよと自分に知らせるために、このイマイチな携帯を手にしたんだと思います。

ありがとうございます。気に入った携帯を買い直さなくてよかった。

形を思い通りに変えるのではなく、心が変わっていくことを自分に教えたかったんだと思います。

ありがとうございます。



▼「最近の事故から、

自分の心を学ぶ」

アメリカ ウォーレル直子

去る二月二十一日、午前二時に、私の家の中の、あちこちで、パツパツパツと大きな音がして、何かが弾ける音と共に、火が一瞬出て、電気が消えて、煙の臭いが家中に匂って、ドンも私も、恐怖で、びつくりして起きた。二人で気が狂ったように、あちこち家中を点検した。家の外廻りも、庭中、見て廻った。その時点では、別に、火や煙は、どこからも出ていなかった。

ちよっと、ホツとした。とにかく、電気が、何かの原因でショートしたのだろうという位は、何となく、電気に関して、殆ど無知な私達も、一

応納得した。

とにかく、朝まで待って、電気屋さんに来てもらって、調べてもらった結果、はつきりとは、原因は分からないが、家の外にある電源のメーターのガラスの周囲が、直径三センチ位の大ききさで、黒い煙の跡が、目撃された。

家の中の電機製品の主なもの、例えば、電子レンジ、電気乾燥機、電話、テレビ、コンピュータ。TOのトイレのシート等が、使えなくなっている（今では、修繕出来たものもある）。直ぐに修繕に来てくれたり、あるいは、新たに買い換えて、思い掛けない出費が、続々と増えた。

ちなみに、この事故が起こったのは、ドンの八十九才になった日の早朝だから、何か、とても意味深長！

でも、ドンは、私のしている「心の学び」をしていないから、それによって、学ぶことは出来ない。すると私だけが、一応、自分の心を、しっかりと見つめて、自分の心の間違いに、改めて、今、気付けるチャンスだと、愛の促しとしか取りようがない。

それで、ここ数日間、毎日、何回かにわたって、ずっと瞑想をして、その原因となる自分の間違った闇の思いを、見つめ続けて来た。やはり、今、改めて気付かされた事は、「私は、自分の心の学びを楯にして、周りの学びをしていない人、特に、主に、夫のドンを責め裁き、見下し、己をそびえ立たせている」という事につきると、今、又、思い知らされている。

「私は、太陽、私は神。私は一番私を認めよ」等々、アマテラスの巫女の思いを、未だに自己供養されな

いまま、そういうエネルギーを、ボンボンと出しっ放しだと気付かされる。肉の思いは、本当にしつこいと知らされる。もつと、もつと、素直に、真摯に、自己供養の作業を進める必要を、今回も、促されていると、気付かせてもらった。ありがとう！

昨日と今日、二日間にわたって、電線の邪魔をしそうな木を二本切り落とし、根っこも砕いて、処理してもらった。そして「なぜ、こういう事故が、今、私達に起こったのか？」と、ずっと、自分の中で、瞑想しながら、自分と対話をし続けている。

昨日のUTA会メッセージで、「長い間、この学びをしていますが、未だに、共に同じ屋根の下に住んでいる相手が、同じ方向を向いて、歩めないのか？」と、問われていた。「それには、やはり、私の心の中に、原

因があるから、こういう現象として、表面化した筈だ」と、問題点を指摘されて、もう一度、改めて、真摯に、自分の中を見つめると、やはり、「私が一番。私は正しい。お前が間違っている。私を認めろ」という、肉々の、肉を本物とする基盤に立つ、人間の誰しもが持っている間違いが、未だにクリア出来ずに、夫に対して戦いを挑んでいるエネルギーを、撒き散らしながらの私の毎日だと、認めざるを得ないと、納得。

私達夫婦も、やはり、未だに、世間一般人並に「私は正しい。間違っているのは、お前だ」と、お互いに、自分を上に置き、他や相手を見下し、責め裁き、怒り…と、特に「自分は、インテリだ」と自認している、お粗末至極な、己一番の権化。「ドンは、まさしく、最適な、私の心を見るた

めの教材、鏡だ」と、心から思えて、ありがとう。本当に、素直でない私に、相変わらず、鎮座していると認める。

今回のアラバマも、竜巻の予報通り、ここ二日間、近くのアチこちで、被害があった事を、去年も、その数年後も、同じ地域が、被害にあっているという事を、TVのニュースで知った。

でも、今のところ、私は、ゆったりと、瞑想三昧の生活のお陰で、いろいろ、改めて、自分の心を学ばせてもらっている。「今ある事が、幸せ、嬉しい、ありがとう」と、思わざるを得ない。母に、タイケトメキチに、私の中の多くの意識達に、私の心を見るための教材、鏡の全ての人達に、現象に、共に学ばせていただいて、ありがとう。私の肉細胞

に、ありがとう。この肉体があるからこそ、今、学ばせてもらっている、この真実の学び。本当にありがとう。「意識の流れ―アルバートと共に―」の中で、そして、「アルバートと共に、次元移行」を目指して、これからの未来、三百年間を、肉があっても、なくても、自分の心を学んで行ける自分に成長したいと、思い始めている。そのために生まれて来た今世を、少しずつ、信じ始めている。ありがとうございます。



▼「大腸癌が消えました」

富山県 石橋鈴江

あれから五年半がたちました。それは平成十八年六月のことでした。大腸癌の告知を受けたのです。

あつと思う間もなく、大腸を十五センチメートル切除する手術を受けましたが、その前後なんの不安も動揺もありませんでしたのは、心の学びをしていたからだと思います。

癌の告知を受けてからは、唯々、私の天命に委ねきっておりました。それはまた医師である次男が、終始私の傍らに寄り添っていてくれることもありました。

日頃、あれだけ他力はいけないと聞いておりますので、田池先生には絶対お知らせもすまいと決めて、ひ

たすら田池留吉、アルバートに心を合わせることに努めました。術後は視力も弱り、本は読めず、気力もあまり湧いてまいりません。家族に学びのテープを持ち込んで貰い、暇があれば聞いては眠り、また聞きながら眠ってしまうような日々を送っておりますが……。

私のベッドは何時の間にもやら海原を渡る病院船の中となっておりました。島から島へと往診に渡る船らしいのですが、私の傍に息子がいて「お母さんの容体は何等変わりはないから安心なさい」と、繰り返して、繰り返して私に語りかけて言うのが聞かれます……。

麻酔から覚めてみれば私は、手術した息子のいる病院のベッドの上に横たわっております。

あの頃は未だ現在のように磁場と

いうメッセージはありませんでしたので、自分で痛めてきた肉体の細胞に「御免なさい、私より貴方のほうが苦しかったでしょう、痛かったでしょう。私の肉体の痛みをクツションになってくれて、有り難う、御免なさい！」と心の底から詫びていました。

七十四歳の夏の日のことでした。私は痛みがあれば肉体細胞に心に向けて感謝をし、なにごともない時にはそれすら忘れてしまう、ぐうたらでした。それでも愛は私の人生の目的を果たしていけるように、今生の肉を与えてくれていきます。反省と瞑想を重ねていくほかにありません。田池留吉、アルバート、有り難うしかありません。

目を閉じて瞑想すれば、宇宙から続く私の闇が苦しい！ 苦しい！

と出てきます。その時、私は田池留吉、アルバートに心に向けて温もりが湧いてくるまで瞑想を続けていきます。すると私の心が震えてきて中から有り難う、有り難う……お母さん有り難うと涙が出てまいります。

中の意識に向けて、「私と一緒にあの温かくて優しい田池留吉、アルバートの宇宙へ帰りましょう」と語りかけます。その時はとても優しく、ああ！ 私はこの供養をするために、真実を知るために生まれてきた。私は永遠の過去から永遠の未来まで生き通す意識であったと深く自覚するのです。

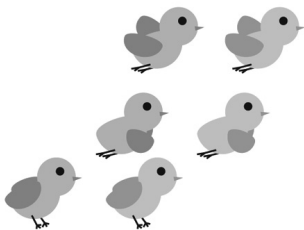
平成二十二年頃には、未だ自然治癒力にただ心に向けて肉体細胞に感謝することに専念しながら、少しずつの痛みがあっても、この現象は不必要なものは消えてえてゆき、必

要なものは残されると決めて、度々の下痢にも怯えることはいたしませんでした。

こうして二十二年「癌は終息した」と、息子から告げられました。

私の命が現在あるのは、徹底してこの学びを信じ真実の世界を信じたことに尽きると思います。

田池留吉、アルバートの宇宙に必ず帰る日を心待ちしている現在です。



## ▼「水と反転」

大阪府 久保明子

春が訪れ、桜が咲く季節になりました。私も大阪に来てから、ほぼ十ヶ月になりますが、その間だけでもたくさん経験させて頂きました。

最初が水でした。水道水があまり美味しくないのです。飲み水には困りました。飲む水だけではなく、料理に使いたいと探していた矢先、水の話を知り、おいしい水に飛び付きました。

私の水好きは通常ではありません。癌で抗がん剤の治療の時も主治医から一日二リットルの水を飲むように言われました。抗がん剤を早く体外に出す為と聞いていました。私にとって簡単に飲める量でした。

でも、この水の話聞くまで不思議に思いませんでしたが、思い出すと普通なら病院で抗がん剤を打ち、しばらく寝て帰るはずでしたが、私はすぐ水をたくさん飲みほし、病院を離れてから、家に帰る途中も喫茶店や食事のお店に寄り、のんびり休憩がてらお茶や水をいっぱい飲んで帰りました。抗がん剤の副作用もほとんど感じること無く、電車で家に戻りました。

今頃になって、お水の作用が大きかったんだと妹に言われ、そうだったんだとその頃を思い出しています。

そして、大阪に来てから良い美味しい水を飲み始めました。どんどん美味しく飲みました。半年一回の癌検査に行きました。CTの写真を見ながら医者が「完治しました。検

査はこれで終わりです。また癌だとすれば、それは新しい物で、転移の癌ではありません。これからは、元の健康診断で良いと思います」と言われました。私はびっくりしました。半年に一回が、一年に一回の検査になってくれたら良いなあと思いつつ行った検査でした。本当に驚きました。

もちろん、思い癖が変わったわけではないので、また癌にならない保証はありません。これからがまた一歩進む勉強だと思っています。

そして、この四月二日、母が急に体調を崩し、夜中、主治医の紹介で大学病院に行きました。三年前同じ痛みで一ヶ月入院、助からないと言われながら元気になった母です。

今回も同じ症状なので、病院に着くまでの数時間、母に反転、痛みの

ある個所に反転、頭に、足に、反転、なにしろやってみました。やりながら、今回は反転と、やれることが有難いと思いました。

急患で着くとすぐに血液検査、CT検査を夜中にやって下さいました。何処にも異常の数値が無いのです。そんなはずが無いのに、不思議に思いながら、朝が明ける前に家に帰されました。

反転の効用を母を通し見せられました。余りにもタイミング良く、お水と反転の勉強をさせてもらえる私達は幸せ者だと思いました。

これからも、いろいろなアクシデントに出くわすでしょうが、学んでいることを実践できる機会を大切に学んで行きたいと思えます。

▼「学びを振り返って」

神奈川県 安達イサ

セミナーが平成二十六年十二月までとHPに載った時の嬉しかったこと。まるで命拾いした感覚でした。

貴重な一回一回のセミナー、復習のつもりでセミナー資料を読み返しました。

田池留吉からのメッセージで「このような場を設けて頂きまして…」という冒頭の一文が突然胸を突きハツとした。眩いばかりの明るさに照らし出され、心を赤裸々にされたような気恥ずかしさでした。

私の感謝とか、ありがたの思いは、ほんの肉一枚のものでした。

「私は身を粉にして、あと残され

た三年のセミナーを誠心誠意努めました。」

いつも、いつも、どこまでも、どこまでも先生の学びに対するこの思い…。

この学びがどれほどのものか、そして、どれほどの尽力があつてこの場が設けられているか…。

身も心も引き締めて学びに臨んで行かなければと思えました。

実は、この度のベッドの件や同室希望の件でのお願いを読んで、些か甘え過ぎではと心がウズウズしたのですが、ウズウズさせたのは私の心の甘さでした。

平和ボケ、甘え馴れしていたのは私の心でした。



UTA会は七百人という大所帯、幹事のご苦労は並々ならぬもの…。

志を同じくする学びのメンバーとはいえ、一堂に会せば群集心理も働き、マイクでのお願いや注意事項など、てんでの解釈や、聞いているように聞いていないのが本音です。

UTA会として申し込むホテルでは、我々は個ではなく七百分の一個？大げさかもしれないが、そう認識しないとトラブルや多大な迷惑をホテルや幹事に掛けることになりかねません。

何事も自分のことは自分でするの  
が、この学びの信条。

反転の学びで、立ち上がるのにご  
不自由な先生が一人一人にかがんで  
くださる。そして、あっちもこっち  
も治したいのは欲。不具合なところ  
と折り合いをつけて暮らす優しさが

大切と言われたことが心に残っています。

思い返せば、私の学びも二十三年  
目。

神の子の学びと言われていた頃、  
やはり「この場を設けていただき神  
に感謝…」との挨拶に戸惑い、居心  
地が悪かったことが蘇りました。

猛々しい物言い、振る舞いが日常  
の私、上から物申し、申される、こ  
れが世のならわし、生き抜く知恵と  
心得ていたのでした。

こんな闘争が習慣の心には、優し  
く下から物申されることは苦手では  
た。

もっと苦手というか苦痛だったの  
が神の子と言われること。聞く度に  
ゾゲ立った。心の底の底を引っ掻  
き回される、逆撫でされる何とも言

えぬ気持ち悪さ。

私は必死で、神の子なんて言う  
な！止める！止める！止めてくれと  
怒鳴り、懇願、哀願でした。悶え苦  
しみ悲鳴を上げていた私の心でした。

母の反省へ反逆。

母の反省なんか出来る訳がない、  
母の心に届く訳がないと一声でした。  
今更何故だ！と難題、難問を突き付  
ける、学びが、先生が恨めしかった。  
母の反省は私の心を絶望的に打ち  
のめしたのでした。

それほど遙か彼方に置き忘れてき  
た母という存在でした。開かずの間  
として封印してきた思いとは、母へ  
の思いだったのかもしれない。

神の子も母も、聞くに耐えない永  
遠に葬り去りたい思いだった。

母の反省を拒否した瞬間、チャネラーが私の目に飛び込んだ。ああ、これだと猛烈なチャネラー願望が始まった。母の反省というトラウマがチャネラーを掴ませ、チャネラーに逃げ道を見つけてしまった。

チャネラーにさえなればと願って、願って通うセミナーは心を落し込めるだけだった。どんなに願っても私の口から一片の言葉も出なかった。

心を落して、落し捲り、やっとこの道を選ばなかった、私には私の思いがあった、私を学びに繋げた原点に気付きました。

私の思いとは肝心な事は直感的に響く、ストレートに入ってくる思いがありました。学びとの出会いもずっと感じていました。

私を学びに集めた原点とは。

心の苦しさが現象として出始めた高校時代、自意識過剰から脅迫観念、対人恐怖症と外出も儘ならず、いつも道の端っこをドブ板踏んで歩き、一番の安心は傘で覆える雨振りでした。

心から突然飛び出す諸々の思い。

私の心は一体どうなっているのか。意識の世界の存在など知る由もなく、ただただと苦しみ喘いでいた十七、八歳でした。唯一の頼りは本だった。共鳴するものに出会えば何となく安心したが解決には至らない。

洋裁学校の夏休み、早稲田にあったドモリ、恐怖症矯正所の新聞広告を片手に上京し、二週間くらい寮に入って学んだこともあった。

自分ではどうにもならないこの呪

縛、人の力を借りたいと心は疼いていたが、私にはずっと神は魔物、金も魔物、言葉も魔物という思いがあった。

現世利益の神は偽物、本屋へ行けば必ず宗教欄に近付くな、手を出すと固く戒められてきた。

他力の反省。

占い好きの友に、\*\*先生の霊力の素晴らしさを聞き、宗教ではないと念を押され、一回切りの約束で結婚相談を兼ね出掛けたのがS会だった。

今思えば、一回切りとは自分に対しての言い訳、心の疼きが言わせたこと。

肉は戒めに忠実にとっても、心は他力恋しさに疼いていたのでした。

それほど慣れ親しんだ他力の世

界、安住の地として住み慣れた世界でした。

一歩足を踏み入れたら最後、すっぽり埋り込んでしまう他力の世界の恐ろしさ。

禁を破った結果。

他力二十五年の重みで心を押しつぶし、心を砂漠化させ、疲弊させました。

こんな心を抱えて、やっとの思いで辿り着いたこの学びでした。

中から誘われるままに辿り着いた目的地、学びは私にはゴールでした。

まさかスタートラインの地点という目的地とは。これからが本番とは。

疲れ果てた私には余りにも酷でした。酷だと思ふ思いがチャネラーという逃げ道を教える。自作自演のイタチごっこ。

甘ちよろい考えでは言葉巧みなサタンに誤魔化され、心の疼きに騙される。

九九年助走の年、二〇〇〇年安定飛行という言葉に心がガタガタ揺すられ、乗り遅れたら大変と慌てふためいた私でした。パソコン導入もチャンスでした。

それからでした。まさに自分との真剣勝負でした。

心のザワザワは容赦なく押し寄せ、激流、濁流でした。肉は阿修羅の如く踏ん張ってきました。流されまゝいと肉でも全身で力んで踏ん張って来ました。

動機の修正から十年、やっと息がつけるようになりました。心の平和、静かさに幸せを感じています。

ありがとうございます。

▼「田池留吉の磁場を思い、反転。実践の中から」

大阪府 鈴木和子

九十一歳という高齢の母、物忘れが激しく痴呆症と思っていた私です。同じことを何度も繰り返して聞いてくる母、今、話した事も忘れてしまう母、「何も分からなくて、何もできなくて」が口癖の母、そんな母を見下げてしまっています。恐怖心の強い母、寂しがり屋の母です。不安になると話しかけてきます。同じことを聞いてきます。離れて暮らしていた時には分からなかったそんな母と接する時間が多くなりました。そんな中で、田池留吉の磁場を思い、反転の勉強が始まりました。

母の頭を反転することを始めた姉

と娘につられて、私も母の頭を反転する実践に加わりました。

繰り返し母の頭を反転、その体験から、喜びのエネルギーが仕事をすることが信じられるようになりました。そして、反転を繰り返す中から、自分の今までを振り返り、自分の反省にも繋げていけることが分かり始めました。母への思いが変わっていきます。自分への思いが変わっていきます。本当に嬉しいです。

田池留吉の磁場を思い、反転した水を日々飲み続けてきた母です。私も毎日続けています。母と同居している姉夫婦が、その水を作ってくれて母に飲ませてくれます。ありがたいです。母は水を飲む量が増えていきます。食事の内容も変わってきたと姉が言います。野菜も食べるように

なつたと喜んでいきます。

最近、母の体に見えて変化が表れてきました。足の指先と足首、ふくらはぎ 脹脛、パンパンに張って象さんの足のよう張っていた足が、今では普通の状態の足に戻ってきました。母の体全体がスリムに変わっています。

母は太っていたのではなくて、体全体がむくんでいたのではないかと思えました。食事の量も前と変わらず、運動することも無く、膝が悪いので、外に出る時も家にいる時も、車椅子の生活です。

反転した水をたくさん飲むようになったこと、そして、姉夫婦と一緒に車椅子で散歩するのが、今までと違う所です。

実際に私の目と耳で確認できるから、水を反転して飲むことの凄さ、反転のエネルギーが仕事をすると

うことを母を通して確認させてもらえます。驚きと不思議の連続です。

体重が減ったから母も動きやすそうです。母をお風呂に入れてくれる姉も、自分でできるようになつてきた母を喜んでいきます。

私が初めて母の頭の数か所を反転した時のことです。

反転が終わってすぐ後に、「ああ、嬉しい。ありがとう。とても軽い気持ちで、ありがとうが言えるから嬉しい」。その言葉に驚きました。頭が軽くなったことを母が教えてくれました。母は今まで私達に重たい思いで、ありがとうを言っていたことを教えてくれました。このような母の言葉を聞いたことは一度もありませんでした。「軽い気持ちで、ありがとうが言える」と喜んでる母から他力

の反省に繋がっていけるチャンスをもらって嬉しかったです。

最近の母は、どんどん色々なことを思い出しています。反転は凄いと更に驚かされます。田池留吉の磁场から流れるエネルギーが仕事をすることを証明してくれている母の存在に感謝です。

反転から学んだこと、気が付いたこと、たくさんあります。即、反転に繋がっていけることが本当に嬉しいです。自分から出でくる思いを反転。気が付けば日々の中で反転するチャンスはいくらでもありました。苦しい思いは反転のチャンスを教えてくれています。

嫌い、好き、悪い、良い、みんなマイナスのエネルギーばかりでした。自分が絶対に正しいと思う思いから

流れるマイナスのエネルギー、そのエネルギーを反転していかない限り、他力の世界から一步も踏み出せないことを反転の中から気付かせていただきます。嬉しいです。

田池留吉の磁场を思い、反転、転写を通して、喜びのエネルギーが仕事をしていくことが信じられるようになりました。喜びのエネルギーは喜びの仕事をしていく。反転から学んでいます。

反転を通して、母は本当に素直だと気付かされます。自分の思いを素直に瞬時に言葉にします。その変化の凄さに驚いています。反転のエネルギーは、堰き止めていた流れを蘇らせる温もりと、喜びのエネルギーであることが信じられる。反転の凄さを感じれば感じるほど、今までの

自分が見えてきます。これからの自分も見えてきます。マイナスを流し続けてきた自分、マイナスしか流せなかつた自分、そのマイナスのエネルギーが仕事をしていたことは、振り返れば納得です。間違い続けてきた自分を素直に振り返ることができて、その自分を反省に繋がっていきることが嬉しいです。

自分で自分を変えていける。本当に嬉しいです。

毎回、喜んで私の反転に応じてくれる母です。母の頭を反転することにより、色々な反省に繋がっています。母を中心にして、反転の実践です。嬉しいです。楽しいです。幸せです。母の動きや言葉の内容が変わってきたことに驚かされます。母の記憶が蘇ってきていると同時に、母から

の言葉の的確さに驚き、圧倒されています。母を通して、改めて、反転の凄さを感じています。

数日前のことです。反転をした後に、母に「自分でできることは自分でしてね」、いつも私が母に言ってきた言葉です。母に洗濯ものを手渡した時のことです。

母が「自分のことは自分でしてねと、あんたに言われたら、あんたは叱っているつもりはないかもしれないけれど、怒られている感じがする」と言葉が返ってきました。私は「怒ってなんていないよ」と言いながら、怒って言ったことに気付かされます。言葉はいらなかったなーと思いつつ、母の肉は老いても、瞬間に出す思いは的確です。

母に「反転してね」と言ったら、「ハ

イ、ハンテン」と直ぐに母の声が聞こえてきました。またまた驚かされました。母は素直だなーと思いました。嬉しかったです。

反転の勉強が始まったころは、反転の意味が分からないと何度も聞いてくる母でした。毎日一緒にいてくれる姉夫婦です。根気よく繰り返し繰り返し、「田池留吉の磁場を思い、反転」を日々の中で実践してくれていることに気付かされ、感謝の思いでいっぱいになります。

私は今の今まで母を痴呆症と決めつけて接してきた。母を見下げる思いを母が感じたのです。私が言っただけならば、私がやっただけならば、私がいなければ、この思いが暗くて重たかったことを、反転と母が実践の中から気付かせてくれました。

日に日に色々なことを思い出している母、九十一歳になっても記憶を取り戻していきける。頭の混線状態が元に戻っていく。肉体は老いても、瞬間に出す母の思いは凄いです。的確です。反転を繰り返ししていく中で、色々な事に気付かされていきます。反省に繋がったり、喜びに繋がったり、嬉しいです。

反転の作業は自分のために自分ができる最高の仕事。今はそう思います。田池留吉の磁場を思うのも、自分ですることです。反転と発信するのも自分ですることです。その水の変化を確認するのも自分でできることです。水の力を確認するのも、感じるのも、全部自分でできることばかりでした。それが本当に嬉しいです。

反転の実践は、私が今までどれほど他力の世界、マイナスの波動を流してきたかを気付かせてくれます。自分で実践を繰り返す中に今までの自分も見えてくる。そして、これからの自分も見えてきて嬉しいのです。自分でするから嬉しくなる。自分でできるから嬉しくなる。嬉しくなるから信じていける。嬉しいのです。

母との会話が変わってきました。私が母の思いや言葉を否定することが少なくなりました。説得しようとか、理解してほしいとか、説明しなければとか、そんな思いも少なくなってきました。自分から出てきた思いを瞬時に気付いて反転すれば、諍いさかいが少なくなってくることを体験しています。

反転の凄さを母が証明してくれて

います。私は、ただただ田池留吉の磁場を思うだけです。そして、反転と思いを発信できる今を喜んでいくだけです。田池留吉の磁場を思うことが嬉しいのです。思えることが幸せです。

苦しい思いを即、反転。反転の実践の積み重ねが自分を変えていく。磁場から流れるエネルギーを遮らない自分に変わっていける。私にとってはまだまだ厳しい道のりだけれど、全部自分でできることを素直に積み重ねていけばいい。それが信じられる今が嬉しいのです。

田池留吉の磁場を思い、反転の実践。この道は次元移行に繋がっている。そう思えてきました。母とともに学べる今に感謝です。田池留吉の磁場を思い、反転、転写。この道を歩いていける。嬉しいのです。

#### ■最近頂いたメールより

京都府 Oさん

昔から手間のかかる、分ならずやの子と言われていましたが、三つ子の魂なかなか抜け切れず、反転と呪文のように唱えている今日この頃。

真実に少しでも近づけたらいいと思いつつ、遠くかけ離れた所にいる自分を感じつつ、真実に近づけるように、又、思いを反転、田池留吉を信じつつ、自分自身を見つめてゆける喜びを感じられる幸せ、反発しながらプラスもマイナスもすべて喜びと心で感じられる。

今生、田池留吉に出会えた肉の時間、本当に人類にとってどれだけ大きな思いであるか。

かけがえのないこの時を学べるの

も、ありがとうございます。

鹿児島県 Yさん

本日、音声ファイルが届きました。ありがとうございます。

十二月のセミナー以来、田池留吉に出会い、凄い学びをさせてもらっている私達は、本当に幸せ者だと痛感させられています。



【体験談・感想文等の募集】

UTA会では、田池留吉の磁場・反転の実験を通じた体験談(手記)やUTAブックから出版されている本を読んでの感想文などを募集しています。

頂いた原稿は、このコーナーなどで皆さまに紹介していく予定です。

原稿は、下記UTA会の原稿受付専用メールアドレスまで、Eメール、またはEメールの添付として送っていただければ助かります。もちろん、郵送でも受け付けいたします。たくさんのご応募、お待ちしております。

【送り先】

原稿受付専用メールアドレス：info@utakai.net

郵送での宛先：〒819-1136 福岡県糸島市美咲が丘2-5-1

UTA会 中村康一



メッセージ

UTA会のホームページに掲載しています『私はあなた、あなたは私、一つ』のメッセージ、八一から八七までです。

八一 ともに学ばせていただけるところが嬉しいです。ともに学ばせていただけることにありがとうございますので、私はセミナーに元気に参加させていただきます。

セミナーに元気に集えることが一番、私は、そう思っています。

今、学べることがただただ嬉しいんです。

自分の中のたくさんの自分に、より優しく、より力強くメッセージを送っていきたいと思っています。そして、より大きく心を広げて、たくさんの自分を受け止めていく学びの



時間となると思っています。

喜びで、喜びで、ともに帰れる喜びを伝え続けます。

心から、田池留吉、アルバートと心から呼んで、私は、私に喜びの波動を流し続けます。そんな瞑想がたくさんできる時間と空間に感謝します。

八二 しつかりと、そして、充分に瞑想をする時間を作り、ただひたすら心に向けることが何よりも肝要です。

話を聞いて分かる世界ではありません。それで分かるならば、苦労はしません。なるほどそうだとあなた自身が頷いても、あなたの中がそうだと頷いているわけではないので

す。

厳しいかもしれませんが、意識の世界を転回していくことは、それは、それは大変なことです。

敏感にはなれます。意識を受けて語ることもできるでしょう。

しかし、今、現にそうなっている人ならば、お分かりでしょう。それがどうしたというんだ、大したことはないじゃないか、そんな思いが伝わってきませんか。

そんなところで、自分を表すことをせずに、ただひたすら心に向けてくれ、もう時間がないんだ、あなたの中でそう叫んでいるあなたがたくさんいるのではないのでしょうか。そうです。もう時間はありません。本当にはいんです。

二五〇年、三〇〇年があるんでしょうと言うかもしれませんが、果

たして、あなたの希望通り、二五〇年後の出会いからトントントンと運ぶでしょうか。

非常に現実的なことを書かせていただきました。

一人ひとり、自分を学ぶために生まれてきたことを、もっと心で感じていただきたい、田池留吉の世界に心向けられ、そんなメッセージが出てきます。

八三 田池留吉氏が立ち上げているホームページに、お水のことが載っています。それから、磁場を活用する治療方法があるとか、自然治癒力についてとか、肉体細胞に思いを向けてとか、そういうことが載っています。

そこだけを読めば、何だか健康重

視、健康志向に偏った学びではないかと感じている人はいませんか。

学びの主旨は何ら変わることはありません。学びの心を見ることが大切です。自分の心を見て、自分を知り、自分の流すエネルギーを知り、そして、それを本来のエネルギーに帰していくこと、つまり自己供養です。

その作業をするためには、もうお分かりかと思いますが、体力と気力が必要なんです。身体も心もある程度元気でないと、心を見る作業は難しいです。

今、元気な人は、さらに自分の心を快適に見ることができるよう、身体や心の調子を整えていけばいいのではないのでしょうか。

それには、たとえば、良質のお水を口にするということは、肉体細胞に負担をかけない優しい思いだと思

います。そして、肉体細胞の思いに沿って生活することも大切なことになってきます。

また、今現在、身体などが不調な人は、それを治療することが目的ではなくて、その治療の過程で、自分に反省を促すことを目的としてください。

心を見ることはこういうことなのか、自己供養をするということはこういうことなのかと、お水を飲んだり、自然治癒力に、肉体細胞に、そして、田池留吉の磁場に思いを向けたりして、少しでも自分の反省に繋がっていくようなさってください。

八四 十二月のセミナーで、磁場をともに学んでまいりましょう。

UTA会セミナーに参加予定の方

は、毎日、ご自宅で田池留吉の磁場に思いを向けて瞑想を実践されているかと思えます。

そして、その自宅学習を踏まえて、セミナー会場で、ご一緒に田池留吉の磁場に心に向けていくお勉強をしていきましょう。

田池留吉の磁場のエネルギー、パワーの片鱗をご自分の心で感じているように、どうぞ、瞑想を続けていってください。

意識の世界、波動の世界は頭で理解できる世界ではありません。それぞれの心で感じていく世界です。

だから最後は瞑想なんです。正しい瞑想を通して、本当の意識の世界の素晴らしさを心で感じられるというわけです。

まずは心身ともにゆったりとしてください。忙しく頭も身体もフル回

転という生活も、ある時期までです。それこそ、人生も後半を迎えている方は、何よりも学び一本の生活に早く切り替えてください。

ご自分の肉体細胞とともに、肉体細胞の思いを心を感じながら、田池留吉の磁場を思い、これからの転生を思い、そして、次元移行へ心を馳せられるようなあなたであってください。

**八五** 田池留吉の磁場、そして反転の瞑想は、毎日欠かさずに実践しましょう。

田池留吉氏のホームページにあるように、お水を用いた試みを、それぞれご自宅でされていますか。

反転のエネルギーを、どうぞ、ご自分の目で確かめ、そして体感して

ください。

そして、さらに、瞑想を深めていきましよう。

喜びで、田池留吉の磁場、そして反転の瞑想を続けていきましょう。

その瞑想を続けていると、自然にありがとうの思いが、あなたの心を埋め尽くしていきます。

ありがとう、ありがとう、ありがとう。そうです。喜びを発信している喜びを、心で感じていってください。

ありがとうのエネルギーは、あなたの身体にも、そして心にも活力を与えてくれます。

そして、元気な身体、元気な心で、自分自身が作ってきた世界に思いを向けていきましょう。

そして、反転です。明るく爽やかに反転です。毎日、その瞑想を続け

ていってください。

明るく爽やかに反転。ありがとうと反転。嬉しいと反転。

身体も心も軽やかに日々を楽しんでいってください。

**八六** 毎日、磁場、反転の瞑想を実践していますか。

田池留吉の磁場、そして反転です。反転のエネルギーは喜びのエネルギーです。

私達は、喜びのエネルギーを発信できるのです。今回は、それを、お水を使つて、まず体感していただけのセミナーになります。一人でも多くの人が体感してください。実際にご自分で体験してみてください。

これは、いつでもどこでも誰でもできるんです。どうぞ、今月のセミ

ナー、楽しみにしててください。  
セミナー会場の目の前のお水に反転と発信。

セミナー会場とは違うどこか別の場所のお水に反転と発信。

色々楽しみながら、思うことの大切さ、すごさを学んでいきましょう。

エネルギーは、プラスであっても、マイナスであっても、一瞬のうちに仕事をします。

本当のことを何も知らない間は、私達人間は殆どマイナスのエネルギーばかりを流しています。時に人を思いやりたりして、優しく温かいプラスのエネルギーを流すこともあります。それも、本当のプラスのエネルギーではなかったのです。

しかし、私達は幸いにもこうして学ばせていただけてきました。今世

学ばせていただいた私達から率先して、マイナスのエネルギーをプラスに反転していきましょう。そして、本当のプラス、プラスのエネルギーをどんどん流していきましょう。喜んで、喜んで、反転、反転と宇宙へ流すエネルギーの質を変えていきましょう。

八七 五月のセミナーまで、皆さん、磁場、反転、転写の瞑想を繰り返し積み重ねていってください。

思う、感じる、信じる、これを繰り返し返して、瞑想を楽しんでいきましょう。

私達は次元移行という意識の流れを伝えています。この次元移行という意識の流れに素直に乗って、それぞれの人生を楽しんでいってください

い。

二五〇年にかけて、何度かの転生があると思いますが、その中において、お母さんの温もり、お母さんから肉体をいただいたことへの感謝、その思いを深く強く自分の中に広げていけるような、そんなあなたであっていただきたい。

磁場、反転、転写、この瞑想はそれをそれぞれの心に促しています。

反転、反転、反転です。反転のエネルギーをそれぞれの心で感じていってください。

喜び、温もりのエネルギーを心で感じていってください。

焦らず、弛まず、真摯な気持ちで、そして、楽しみながらあなたの時間を過ごしていってください。

## 《U T A会からのお知らせ》

今年度もU T A会に加入していただき、ありがとうございます。今年度で、U T A会も早いもので4年目になりました。これからも、よろしくお願ひいたします。

なお、5月開催の第11回U T A会から同室希望の条件と申込方法が変更になっていますので、ご確認をよろしくお願ひいたします。

### ● U T A会状況とお知らせ

1) 2012年度U T A会の4月12日現在の会員数は以下の通りです。

- ・正会員 800名 (海外在住者16名含む)
- ・準会員 40名 (海外在住者3名含む)

2) 今年度の発行予定

2012年5月 機関誌「U T A会だより第7巻」本号

冊子「意識の流れ あなたに語り掛けましょう 第3巻」発送

7月 冊子「その人、田池留吉 第4巻 (ホームページより)」発送

9月 冊子「意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう 第1巻」発送

11月 機関誌「U T A会だより第8号」発送

2013年1月 冊子「意識の流れ 田池留吉の磁場を思い瞑想をしよう 第2巻」発送

※ 以上を予定していますが、変更になる場合もあります。また、これ以外にも新刊本の図書館への寄贈、本の音訳C Dの視覚障害者施設への寄贈が予定されています。

3) 今年度U T A会の開催予定

今年度は、年5回のU T A会開催を予定しています。日程は下記の通りです。

◆第11回U T A会 5月27日(日)～29日(火) / 前日泊 5月26日(土) 申込期間4月16日(月)～5月7日(月) / キャンセル連絡日5月11日(金)
◆第12回U T A会 7月29日(日)～31日(火) / 前日泊 7月28日(土) 申込期間6月18日(月)～7月9日(月) / キャンセル連絡日7月13日(金)
◆第13回U T A会 9月23日(日)～25日(火) / 前日泊 9月22日(土) 申込期間8月13日(月)～9月3日(月) / キャンセル連絡日9月7日(金)
◆第14回U T A会 12月9日(日)～11日(火) / 前日泊 12月8日(土) 申込期間10月29日(月)～11月19日(月) / キャンセル連絡日11月23日(金)
◆第15回U T A会 2013年3月17日(日)～19日(火) / 前日泊 3月16日(土) 申込期間 2月4日(月)～2月25日(月) / キャンセル連絡日3月1日(金)

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

4) 2011 年度U T A会 会計報告

(2011 年 4 月 1 日～ 2012 年 3 月 31 日)

収入の部	収入	支出	残高
前年度繰越金	3,636,740		
正会員 年会費 910 名分 (3 月 31 日現在 907 名)	8,938,000		
正会員 退会による返金 3 名分		5,000	
過入金分の返金		12,000	
小 計	12,574,740	17,000	12,557,740
支出の部	収入	支出	残高
[U T A会セミナーへ参加費用の充当] 第 6 回U T A会～第 10 回U T A会 5 回分の充当額 (延べ参加人数 6,443 名× 1 泊につき 500 円)		3,221,500	
[正会員への配布物] 機関誌 2 冊、冊子 5 冊の 制作費、及び発送費		2,701,910	
[図書館、及び視覚障害者施設への寄贈] 本 2 冊 (2300 館)、音訳 CD 1 本 (100 館) の 制作費、及び発送費		2,154,620	
[運営経費] ホームページ運用、通信費、発送費、 事務用品費、人件費等		701,371	
小 計		8,779,401	
2011 年度 U T A会 経費合計残高	収入	支出	残高
収入の部 合計	12,574,740		
支出の部 合計		8,796,401	
合 計	12,574,740	8,796,401	3,778,339

(単位：円)

5) 今年度、2012 年度のU T A会セミナー代金について

上記、前年度の会計報告にもありますように、前年度は繰越金が発生しましたので、それを今年度、2012 年度のU T A会セミナー料、5 回分すべてに充当したいと思います。充当の内訳は、次の通りです。

大人1泊につき500円を充当し、10,000円のところを9,500円とします。

2泊では、20,000円が19,000円になります。

但し、前日泊、及び幼児・小学生代金に関しましては、今まで通り変更はありません。

また来年度、2013年のU T A会セミナー代金に関しましては、今年度の繰越金を見て決めさせていただきたいと思います。

#### 【U T A会セミナーの同室希望の変更について】

先日開催されました第10回U T A会にて、久保幹事長よりお知らせしました「セミナーでの同室希望」について、2012年度、5月開催の第11回U T A会より、下記のとおりに変更させていただきます。

また、同室希望の申込方法も、第11回U T A会より変更させていただきますので、よろしく願いいたします。

#### ※ 同室希望の条件

- ① 80才以上の高齢の方で、家族等の介護が必要な方。
- ② 今現在、病気治療中で、家族、または他者の介助がなければ参加が難しい方。
- ③ 小さいお子様をお連れの方。(原則として、お子様はお母様、または保護者の方と同室になります。)

#### ※ 同室希望の申込方法

上記の条件を満たし同室を希望される方は、参加費用を振り込む前に、久保幹事長へ電話をされて、同室希望の了解を得てください。その後、郵便局から参加費用をお振込みください。

(久保幹事長の了解を得ずに、振込用紙に記載された同室希望は無効とさせていただきますので、ご了承ください。)

#### ※ 連絡先 久保幹事長 TEL 0721-55-4666

※ なお、この度、同室希望について変更させていただく理由は、今まで上記以外の家族、夫婦等での同室希望をお受けしていましたが、同室希望が多く寄せられるようになり、定員数に満たない人数で使用する部屋が増えたため、ホテルから申込者数分の部屋数を貰っても、部屋が足りない状況になったためです。また、一部屋に定員(5、6名)で入られる参加者様との不公平感も一つの理由にあります。

そのため、今まで受付けていた同室希望の条件は無効とさせていただき、2012年度、5月開催の第11回U T A会より、新たな同室希望の条件で受け付けさせていただくことになりました。

また、セミナーで色々な方と一緒に部屋になることも勉強の一つかと思っておりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

● 次回のU T A会セミナーのご案内

1. 開催日時と場所（遠方から参加される方のために、前日泊も設けています）

① 開催日程

◆第11回U T A会

2012年5月27日（日）～29日（火） 参加人数 800名

2012年5月26日（土）前日泊 参加人数 300名

27日（日） 13:30～17:00（12:00開場）

席決めの抽選を12:45より行います。

28日（月） 10:00～17:00

29日（火） 10:00～12:00（会場は14:30まで使用できます）

【申込受付期間】 2012年4月16日（月）～5月11日（月）

【キャンセル連絡日】 2012年5月11日（金）

◆第12回U T A会

2012年7月29日（日）～31日（火） 参加人数 800名

2012年7月28日（土）前日泊 参加人数 300名

29日（日） 13:30～17:00（12:00開場）

席決めの抽選を12:45より行います。

30日（月） 10:00～17:00

31日（火） 10:00～12:00（会場は14:30まで使用できます）

【申込受付期間】 2012年6月18日（月）～7月9日（月）

【キャンセル連絡日】 2012年7月13日（金）

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

② 会場 琵琶湖グランドホテル

〒520-0101 滋賀県大津市雄琴6-5-1 / TEL 0775-79-2111

2. 参加申込日程と参加料金（料金にはセミナー会場使用料も含まれています）

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,500円
前日泊+全日程	3泊4日8食付	29,500円
前日泊+前半1泊	2泊3日5食付	20,000円
全日程	2泊3日6食付	19,000円
前半1泊/後半1泊	1泊2日3食付	9,500円

※ 初めて参加される方の参加料は、会員と同じです。但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。

※ 小学生、幼児は別料金になりますので、ホームページをご参照ください。



### 3. 申込方法について

① 申込期間内に、お近くの郵便局に備え付けの青い振替払込書にて、U T A会セミナー料金をお振り込みください。それで受付とさせていただきます。

② 振替払込書に、氏名、会員番号、申込日程を、必ず明記してください。布団、食事を必要としないお子様の名前、年齢も、ふりがな、必ず明記してください。

※ 複数名でお申し込みの場合は、それぞれの氏名、会員番号、申込日程を必ず明記してください。

※ 同室希望については、第11回U T A会より変更させていただきました。

[ 同室希望の条件 ]

① 80才以上の高齢の方で、家族等の介護が必要な方。

② 今現在、病気治療中で、家族または他者の介助がなければ参加の難しい方。

③ 小さいお子様をお連れの方。(原則として、お子様はお母様、または保護者の方と同室になります。)

[ 同室希望の申込 ]

上記の条件を満たし同室を希望される方は、参加費用を振り込む前に、久保幹事長へ電話をされて、同室希望の了解を得てください。その後、郵便局から参加費用をお振り込みください。

(久保幹事長の了解を得ずに、振込用紙に記載された同室希望は無効とさせていただきますので、ご了承ください。)

[ 連絡先 ]

久保幹事長 TEL 0721-55-4666

※ 簡易ベッドについて、第8回U T A会より有料となりました。

簡易ベッドをご希望の方は、ベッド代として1泊につき500円の代金を、セミナー料に加えて一緒にお振り込みください。

なお、セミナーでベッドをご希望のされる方が増えており、用意できる簡易ベッドの数に限りがあるため、ご希望の方全員にベッドを用意することが難しくなりました。

そのため簡易ベッドのご希望は、車椅子をご利用の方、または病気等でどうしてもベッドが必要な方とさせていただきます。また、ベッドのご希望に添えない場合には、その旨、ご了承くださいたいと思います。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※ 会員でない方が、初めて参加される場合は、振込払込書に、氏名、ふりがな、申込日程、住所、電話番号、性別、年齢、メールアドレスを明記してください(性

別、年齢等はU T A会の部屋割りに、メールアドレスは受付確認メールの送信に必要となります。

但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。なお、会員でない方の参加は、今までに開催されたセミナー、勉強会等に一度も参加されたことのない、まったく初めての方のみ、受け付けさせていただきます。

※ 交通機関のご都合等で、U T A会最終日に昼食が不要の方は、「食事不要」と振込用紙に記載してくださるよう、お願いいたします。

③ 振込先（振込口座番号、入金金額は、必ず確認をお願いいたします）

口座番号：01700-5-140092

加入者名：U T A会

④ 入金の確認ができ次第、U T A会受付確認のメールを送信いたします。

なお、郵便振替払込書がこちらの手元に届くまでには4日間ほどかかりますので、確認メールの到着までには、一週間ほどお待ちください。また、メールアドレスをお持ちでない方へは、ハガキにてお知らせいたします。

#### 4. キャンセルについて

- ・キャンセル連絡日までのキャンセルはメールで、また、キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセルは、必ず、久保幹事長まで電話にて連絡をお願いいたします。
- ・キャンセル連絡日までのキャンセル料は、無料です。
- ・キャンセル連絡日を過ぎてのキャンセル料は、総額の100%です。
- ・U T A会当日にキャンセルされる場合でも、必ず、久保幹事長まで電話連絡をお願いいたします。  
(なお、久保幹事長の連絡先は最終ページに掲載しています。)

#### 5. 参加についてのお願い

- ・参加のお申し込みは、必ず、期間内をお願いいたします。
- ・義務教育中のお子様の学校を休んでの参加、または幼児、小、中学生の保護者同伴なしでの参加は、ご遠慮ください。
- ・家族（夫、妻、舅、姑、子供…）に、U T A会への参加を反対されている人、または家族、職場に対して嘘をついて参加することは、ご遠慮ください。
- ・参加費用を借金してU T A会に参加することは、ご遠慮ください。
- ・ホテルや他の宿泊客に迷惑をかける人、またはU T A会の進行を妨げるような行動を取る人は、参加をご遠慮ください。
- ・参加者同士がトラブルを起こした場合、当事者間で解決が見られるまで、参加をご遠慮ください。
- ・セミナー期間中の個人的な物品の販売は、ご遠慮ください。

- ・お子様達の過ごす〔子供部屋〕をセミナー会場の外に1室設けています。  
セミナー中は、お子様達は全員〔子供部屋〕にてお過ごしいただき、保護者の方、または保護者の方々と話し合っただけで交代にするなどして、責任を持ってお子様達の面倒を見るようにしていただきたいと思います。会場内で静かにできるというお子様もおられますが、参加しているお子様は全員、こちらの部屋のご利用をお願いいたします。（但し、小学校高学年で、自分で勉強しようとセミナーに集中されているお子様は、会場にてご参加いただいても構いません。）  
なお、ホテルのロビーや廊下で遊ばせるのは、ホテルに迷惑がかかりますので、ご遠慮ください。  
また、音の出るオモチャは迷惑となりますので、ご遠慮ください。

## 6. セミナー会場の座席、及び開場時間についてのお願い

毎回、セミナー会場での座席は抽選くじで決めさせていただいておりますが、最近、抽選くじで当たった番号以外で座る方や、友達同士で抽選くじ番号以外で纏まって座る方々がいるなど、参加者の方々から苦情が寄せられております。また、セミナー会場の椅子席が足りなくなる状況が出ています。そこで、セミナーに参加される皆様へのお願いです。

### ① 座席について

セミナー会場での座席は、田池先生ご夫妻、塩川さん親子、U T A 会責任者の久保夫妻の6人以外の方は、必ず、抽選くじを引いて、当たったご自分の番号でお座りください。友人等、他人の番号で座るのはおやめください。

また、家族で参加されている方は、抽選くじは家族で1枚引いていただき、その番号でお座りください。

なお、初参加の方の席は、こちらで「初参加者席」という紙を置いた席を用意しますので、そちらにお座りください。初参加者を紹介された方も一緒に座ってくださって結構です。

### ② 椅子席について

毎回、足の悪い方、ご病気の方、高齢の方、初参加者のために、椅子席を用意しております。セミナーは床に座って受けていただくのが基本となっております。ご事情により、長時間、床に座るのが辛い方のための椅子席ですので、健康な方は抽選くじを引かれて、床に座ってご参加ください。

### ③ セミナー会場の開場時間について

セミナー会場の開場は12時です。セミナーの準備等がありますので、開場時間前にセミナー会場に入るのはご遠慮ください。開場時間まで、ロビー等でお待ちください。

※ セミナーに参加されている方は、どなたも前へ座りたいというお気持ちは分かりま

